

## 財務管理特殊研究\_参考文献

### \* 財務管理を学習するための参考文献

- 1、「現代ファイナンス」, ロバートマートン(ノーベル賞受賞者、生活設計にも大いに役立つ)
- 2、「資本市場とコーポレートファイナンス」, 日本人(現代ファイナンスに似たもの?)
- 3、「証券アナリストのための財務分析」, ???(会計情報を活用したもの。良くできている)
- 4、「企業分析入門」, K・G・パレプ、V・L・バーナード、P・M・ヒーリー(アメリカ証券アナリスト(サーティファイド=公認)が読む本で、第2版の英語版が良い。日本語版は間違いがある。ISBN4-13-042106-9、東京大学出版会。利益を予測するための本)
- 5、「財務管理と診断」, 菊井高昭、竹本達広(中小企業診断士の財務・会計を習得するうえで役立つ。雑誌「企業診断」をまとめたもの。中小企業のコンサルに役立つ。同友館、弱点、キャッシュフローの話が少ない)

### \* 会計を学ぶための本

- 1、「ゼミナール現代会計入門」, 伊藤邦雄(会計を詳しく調べたいなら、幅広く知るうえで良い。専門的には、若干の問題あり)
- 2、「戦略財務会計」, 西山茂、ダイヤモンド社(レベルは企業分析入門には劣るが、良い本、キャッシュフローで分析した結果と他の分析による結果の違い等を解説)

### \* 会計を知るための基礎的な本

- 1、「ベーシック財務諸表入門」, 佐々木秀一、日経文庫
- 2、「3ステップ式 基本商業簿記演習」, 創成社
- 3、「会計学入」, 桜井久勝、日経文庫(私とテーマ似ている人)
- 4、「ビジュアル金融の基本」, NB  
(ファンダメンタルな部分でしっかり反映しているのは株じゃないか。ソロス(US)は「日本人は臆病」だと語っている。現在、国債は問題があるにもかかわらず、銀行は買いこんでいるし、郵貯は公共事業に使われており、利回りを払えるわけが無い。そこでもっと株式投資を知るべきである。)
- 5、「株・投資信託・外貨預金がわかる基礎の基礎講座」, 細野真宏、講談社
- 6、「証券分析の基礎」, 有斐閣アルマ(読むのに結構根性のいる本)
- 7、「Foster.G financial statement analysis」良い本であり、MBA を目指す人は必ず読んでいる。日本語版「資本市場と財務分析」があり。廃版になっているかも。

\*その他

「証券マンのための株式投資理論入門」、日本経済新聞社

「ウォール街のランダムウォーカー」、日本経済新聞社、ベストセラー。読み物として楽しい。

「証券投資論」、加門敏弘、証券アナリスト協会。財務管理特殊研究の後、これを読むと復習に良い（参考書的に）。

「英和／和英 経済用語辞典」、富士書房

「現代英和会計用語辞典」、同文館